



【医療】 導入事例

静岡市立静岡病院 循環器内科

アルケリスを導入してから、翌日の疲れが残りにくくなった！
重いプロテクターを着用する医師におすすめです。

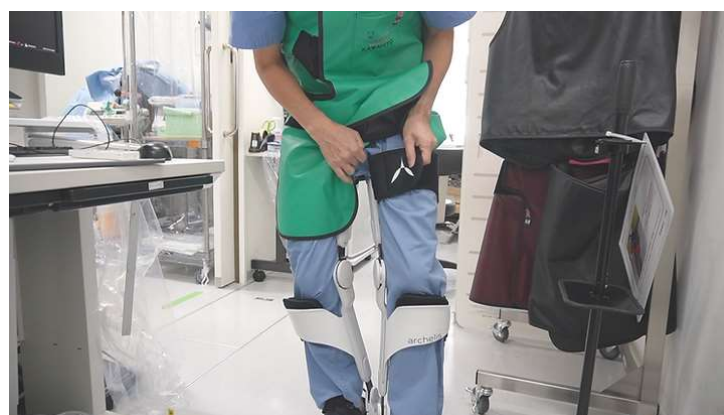
静岡市立静岡病院 循環器内科
科長 川人 充知 医師

職員数：医師167名、看護師556名、医療技術職員176名、その他70名
病床数：506床



アルケリス導入の決め手

オペ中の足腰への負担を軽減してくれるだけでなく、手術室のレイアウトを変更することなく導入でき、装着も簡単なのが良いです。頻繁なペダル操作も問題なく、座った時の角度がカテーテル操作に丁度良いのも気に入っています。



アルケリス導入で解決

3時間以上になる手術では必ず、短い手術でも1日に2,3回行う場合にはアルケリスを使用しています。

アルケリス導入後、オペ後自宅に帰ってからの疲労感が大幅に軽減されました。「翌日に疲れを残さない」という点で非常に役に立っています。

こんな人におすすめ

腰痛に悩む医師はもちろん、重いプロテクターを着用する術者や助手の方々におすすめです。これから長くオペに従事したい若い医師には、腰痛予防の観点からも早くからアルケリスを使ってもらうのが良いと思います。

